

(参考)

消費者の情報開示への意識調査のまとめ

(社)食品需給研究センター(平成19年3月発行)報告書より

・調査方法 インタ-ネット、回答数7008人、調査2006年3月

※まとめより

- ①生産履歴を知りたいと答える人は非常に多いが、実際に調べる人は少数
⇒消費者は、知りたいときに『知ることができる状態になっている』ことを求めている
- ②情報提供方法は、商品への表示、店頭での問合せ、PCでの検索を望む。
しかし、電話で問い合わせるほどの手間をかけたくない
⇒『気軽な方法で知ることができる状態になっている』ことが望ましい
- ③買物・料理の習慣を持っている人ほど、又、農作業経験・食品関係の就業経験がある人ほど、生産履歴に関心を持ち、実際に調べる傾向がある
⇒国民の「食の体験」を高めることがキー。食育と生産履歴開示との好循環を形成できるとよい